

2025 年 2 月 27 日

菊池市の学校給食を考える会
中里 千恵 様

菊池市の学校給食を考える会 御中

このたびは、公開質問状をお送りいただきありがとうございます。菊池市の学校給食に関する貴会の取り組みと、ご提案に深く敬意を表します。以下、各ご質問についての私の考えをお伝えいたします。

1. 無農薬米の提供拡大について

現在、菊池市では特別栽培米や無農薬米の導入が進んでおり、子どもたちの健康を考えた学校給食の提供に尽力されていることを高く評価します。そして無農薬米の提供拡大については、地元農家の生産体制やコスト負担の問題なども考慮しつつ、段階的に拡大する方向で取り組むべきと考えます。生産者との連携を強化し、無理のない形で持続可能な仕組みを構築することが重要です。

2. 有機農産物の提供拡大について

菊池市が「オーガニックビレッジ」構想を掲げていることを踏まえ、学校給食においても有機農産物の活用を進めることは意義のある取り組みだと考えます。ただし、有機農産物の安定供給やコスト面の課題もあるため、生産者や関係機関と協議しながら、可能な範囲で拡大していくことが望ましいと考えます。地元産の有機野菜の導入を促進し、子どもたちに安全で健康的な食を提供する環境を整えていきたいと思えます。

3. 食育教育の充実について

食育は、子どもたちが食への関心を高め、郷土の文化を理解するうえで非常に重要な要素です。先日七城小学校での米作り、メロンドームでの販売までの取り組みの一部を拝見しましたが、とても素晴らしい活動です。私も個人的な活動として農体験を提供していたので、楽しみながら体験、学べる環境を充実させることに賛成です。

4. 農地・水・環境保全について

TSMC の進出に伴う開発が進む中で、菊池市の豊かな農地や水資源を守ることは重要です。特に地下水の保全は、市民の生活や農業に大きな影響を与えるため、適切な水資

源管理が求められます。また、PFAS（有機フッ素化合物）などの環境汚染への対応についても、実態調査を進め、必要な対策を講じていくことが不可欠だと考えます。環境保全と産業発展のバランスをとりながら、持続可能なまちづくりを進めることが大切です。

5. ゲノム編集作物について

① ゲノム編集作物については、食の安全性や環境への影響について慎重に検討すべき課題であると認識しています。ゲノム編集技術は農業の発展に貢献する可能性もありますが、長期的な影響については十分な研究が必要です。消費者の不安を解消するためにも、透明性のある情報提供を求めていきたいと考えています。

② ゲノム編集作物の交雑リスクについては、地元農家の意見を尊重しつつ、必要に応じてモニタリング体制の強化を検討することが重要です。また、農作物の多様性を守るためにも、伝統的な品種の保全活動などを推進することが求められます。行政としては、農業者や消費者の意見をしっかりと聞きながら、慎重に対応していく姿勢を取るべきだと考えます。

以上、菊池市の学校給食や農業・環境保全に関するご質問に対する私の考えを述べさせていただきました。今後も、市民の皆様と意見交換を重ねながら、安全で安心な学校給食の実現と、持続可能な農業・環境の保全に向けて取り組んでまいります。ご質問へのご回答が少しでもお役に立てば幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。